

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪市立デザイン教育研究所
設置者名	大阪市

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	デザイン学科	夜・通信	122単位	6単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="http://www.omcd.ac.jp/">http://www.omcd.ac.jp/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	大阪市立デザイン教育研究所
設置者名	大阪市

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	教育課程編成委員会
役割	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 運営計画案に関する意見の陳述</li><li>・ 教育課程編成への提言</li></ul>

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
株式会社いわさき 代表取締役社長 （大阪商工会議所南支部副部長）	令和4年4月1日 ～令和6年3月31日	産業振興に関する知見保持者
ヤフー株式会社 デザイナー	令和4年4月1日 ～令和6年3月31日	実務・知識・技能に関する知見保持者
大阪府立工芸高等学校 校長	令和4年4月1日 ～令和6年3月31日	外部の学術機関等の有識者
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪市立デザイン教育研究所
設置者名	大阪市

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>本校では、教務会議において次年度に向け科目ごとに重点課題について協議し、各科目の担当が次年度授業計画(シラバス)を作成している。</p> <p>本校の授業計画(シラバス)に関する学生への説明については、オリエンテーションを設定し行い、加えて科目によっては授業の初回に担当教員からも説明している。</p> <p>授業計画(シラバス)は紙媒体(冊子)で配付しており、2023年度版は本校ホームページにて公開を予定している。</p>	
授業計画書の公表方法	紙媒体(冊子)による配付。
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>「大阪市立デザイン教育研究所学則」に則り履修を認定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第4章学科目、単位数および履修方法」第5条(学科目単位数)、第6条(授業)、第7条、第8条(履修方法)</li> <li>・「第5章学科目、単位数および履修方法」第9条(認定)、第10条(出席)、第11条(単位の認定)、第12条(学習の評価)、第13条(試験)、第14条(進級の認定)、第15条(卒業の認定)、第16条(卒業ならびに称号の付与)、第17条(留年及び在籍年限)の規定に則っている。</li> </ul>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価の客観的指標として、GPA (Grade Point Average) を採用予定である。GPA では、5段階評価 (秀・優・良・可・不可) によってポイント化し、成績の分布状況を把握したうえで、学生の学修指導に活用する。</p> <p>【判定・合格】評価 (秀) : 評点 (100~90点) *GP (4ポイント)  【判定・合格】評価 (優) : 評点 (89~80点) *GP (3ポイント)  【判定・合格】評価 (良) : 評点 (79~70点) *GP (2ポイント)  【判定・合格】評価 (可) : 評点 (69~60点) *GP (1ポイント)  【判定・不合格】評価 (不可) : 評点 (59点以下) *GP (0ポイント)</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表 <a href="http://www.omcd.ac.jp/">http://www.omcd.ac.jp/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  「大阪市立デザイン教育研究所学則」から抜粋</p> <p>卒業の認定 (第15条)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修得単位数が85単位以上の者。但し、講義科目40単位以上、実習科目40単位以上とする。</li> <li>・必修科目の単位が認定された者。</li> </ul> <p>上記の結果をもって卒業認定会議を開催し、要件を満たしていると判断された場合に卒業を認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表 <a href="http://www.omcd.ac.jp/">http://www.omcd.ac.jp/</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪市立デザイン教育研究所
設置者名	大阪市

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	デザイン学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	85 単位時間/単位	71単位	16単位	90単位	0単位	0単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		84人	0人	6人	52人	58人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務会議において、次年度の年間授業計画案について各科目の重点課題を踏まえ協議する。</li> <li>・各科目の重点内容を踏まえ科目担当者は次年度授業計画（シラバス）を作成する。</li> <li>・授業計画（シラバス）に関する学生への説明については、オリエンテーションを設定し行い、加えて科目によっては授業の初回に担当教員からも説明している。</li> </ul> <p>※授業計画（シラバス）は、学校ホームページに掲載している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価の客観的指標として、GPA(Grade point Average)を採用予定である。</p> <p>5段階評価（秀・優・良・可・不可）によって、授業科目ごとに採点を行い、秀・優・良・可(100～60点)を合格とし、不可(59点以下)を不合格とする。</p>

卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 「大阪市立デザイン教育研究所学則」 から抜粋</p> <p>進級の認定 (第 14 条)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 学年の修得単位数が 40 単位以上の者。</li> <li>・ 1 学年の必修科目の単位が認定された者。</li> </ul> <p>卒業の認定 (第 15 条)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修得単位数が 85 単位以上の者。但し、講義科目 40 単位以上、実習科目 40 単位以上とする。</li> <li>・ 必修科目の単位が認定された者。</li> </ul>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>学校組織に学年担当を設け、学生への面談等による学習支援、就職支援等の援助及び助言を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
24 人 (100%)	0 人 ( 0%)	19 人 ( 79%)	5 人 ( 21%)
(主な就職、業界等) プロダクト、WEB 制作、設計、VMD、企画デザイン 等			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就職活動に関する基礎知識、求人票の見方、履歴書等の作成、面接対策等の指導</li> <li>・ ポートフォリオの作成に関わる指導</li> <li>・ ハローワークとの連携による指導</li> <li>・ 就職関係 (求人票、説明会等) の案内</li> </ul>			
(主な学修成果 (資格・検定等) )			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
84 人	0 人	100%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
学校組織に学年担当を設け、出欠状況等を把握し、必要に応じて学生への面談等を行い中退防止に取り組んでいる。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
デザイン学科	169,200 円	390,000 円	140,000 円	大阪市住民及びその子
デザイン学科	260,600 円	390,000 円	140,000 円	その他の者
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 <a href="http://www.omcd.ac.jp/">http://www.omcd.ac.jp/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校関係者評価委員会」を置き運営に関し必要な事項を定めるものとする</li> <li>・会議は定例会及び臨時会とする</li> <li>・定例会は年度1回とする</li> <li>・運営計画案に関する意見の陳述</li> <li>・学校関係者評価の決定</li> </ul>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
大阪商工会議所 西支部 事務長	令和4年4月1日 ～令和6年3月31日	企業等委員
大阪府立第二工芸高等学校 校長 大阪府立工芸高等学校定時制の課程 准校長	令和4年4月1日 ～令和6年3月31日	学術機関の有識者
大阪市立デザイン教育研究所 後援会長	令和4年4月1日 ～令和6年3月31日	後援会
大阪市立デザイン教育研究所 後援会保護者部会長	令和4年4月1日 ～令和6年3月31日	後援会
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 <a href="http://www.omcd.ac.jp/">http://www.omcd.ac.jp/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 <a href="http://www.omcd.ac.jp/">http://www.omcd.ac.jp/</a>
---